

2011年度事業計画書

自 2011年4月1日

至 2012年3月31日

(財)日本音楽財団

1. 方針

本年度は、昨年度に引き続き「音楽国際交流事業」と「音楽文化の振興事業」並びに「地方における演奏会の開催」事業を実施する。また、新規に「N響との協働によるチャリティコンサートの開催」事業を実施する。

音楽国際交流事業では、財団が保有する弦楽器名器を貸与する事業を中心として西洋クラシック音楽の振興普及を図るとともに、西洋クラシック音楽を通じた国際交流を積極的に推進する。

音楽文化の振興事業(音楽助成金交付事業)では、音楽関係諸団体の活動を支援して音楽水準の向上に寄与することにより、音楽の振興と普及を図る。

地方における演奏会の開催事業では、楽器貸与者を主な演奏家として東京以外の都市で財団保有楽器を使用した演奏を提供するとともに、当財団の楽器貸与事業の周知を積極的に行う。

新規事業として実施するN響との協働によるチャリティコンサートの開催事業は、N響と複数の当財団楽器貸与者との共演により、通常のオーケストラ公演とは異なるユニークなプログラムによる演奏会を開催し、クラシック音楽の振興と普及を図る。

その他、当財団の目的達成するために必要な事業を行う。

(1) 音楽国際交流事業(継続)

- ① 所有の弦楽器名器の保守保全
- ② 所有楽器の貸与(楽器貸与委員会の開催を含む。)
- ③ 所有楽器による国内演奏会の開催
- ④ 音楽関係国際ネットワークの形成
- ⑤ その他

(2) 音楽文化の振興事業(継続)

(3) 地方での演奏会の開催(継続)

(4) N響との協働によるチャリティコンサートの開催(新規)

(5) その他

2. 事業計画

(1) 音楽国際交流事業

[事業の目的]

世界のクラシック界に対して、貸与者の国籍を問わない楽器貸与事業を展開するとともに、楽器貸与者による演奏会を開催し、日本の財団として実施している弦楽器貸与事業の国際貢献を広く周知広報する。

[事業の計画]

① 所有の弦楽器名器の保守保全

現在、当財団ではストラディヴァリウス 19 挺、ガエルネリ・デル・ジェス 2 挺、計 21 挺の弦楽器を保有しているが、それらの弦楽器名器の定期的保守・保全を行う。

長期貸与者には貸与中の楽器について財団指定楽器商での年 4 回の定期点検を義務付ける。(内 1 回は、当財団の楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル氏のコンディション・チェックとする。)

なお、楽器製作後 300 年以上ほとんど大規模修理をしていない楽器であること等により、経年による大規模な修理、補修が必要な楽器が出てきていることから、前述のヒル氏の助言を受けつつ慎重に見極め、順次対応することにする。

② 所有楽器の貸与

財団所有の弦楽器名器を誰に、どの程度の期間貸与するかを決める楽器貸与委員会を、各委員のスケジュールを調整の上、海外で開催する。同委員会は 1994 年に設置され、毎年一回、慎重に検討審議し貸与者の選定を行なってきた。本年度はアメリカ・ヴァージニアで開催する。

1997 年度から継続的にベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者に次回開催までの期間(2009 年までは 4 年間、2009 年からは 3 年間)ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」を貸与している。このコンクールは従来から若手演奏家の登竜門として国際的に定評があったが、当財団の保有楽器が当該コンクール優勝者への副賞として次回開催までの間貸与されることになってから、応募者数が増加しヴァイオリン部門の参加者の質が向上したとの報告を受けている。これまで 4 人の優勝者がストラディヴァリウス・ヴァイオリン「ハギンス」を演奏してきている。当該コンクールの要請に応じて、引き続き協力することとする。

③ 所有楽器による国内演奏会の開催

当財団の楽器貸与事業を周知広報するとともに、日本の音楽愛好家にその名器の音色を披露するため、貸与者による演奏会を東京において年 4 回開催する。同時に実録 CD を作成し関係者に配布するなど積極的に広報に活用する。

また、日本では知名度が低い将来有望な楽器貸与者の来日コンサート等を支援する。

開催月日および場所等

1)2011年5月16日(月) 紀尾井ホール(東京) 800席

演奏家 Steven Isserlis (Stradivarius Cello 1730 "Feuermann")
Sam Haywood (ピアノ)

2)2011年12月6日(火) 浜離宮朝日ホール(東京) 552席

演奏家 Lisa Batiashvili (Stradivarius Violin 1709 "Engleman")
占部由美子(ピアノ)

3)2012年1月19日(木) 浜離宮朝日ホール(東京) 552席

演奏家 諏訪内晶子 (Stradivarius Violin 1714 "Dolphin")
林 絵里(ピアノ)

4)2012年2月20日(火) 浜離宮朝日ホール(東京) 552席

演奏家 東京クワルテット(Stradivarius "Paganini Quartet")

④ 音楽関係国際ネットワークの形成

世界の音楽関係機関との更なるネットワーク形成を図る。また音楽ライブラリーの充実を図る。(CD、DVDの購入、楽器の製作・修理・保存等に関する資料の収集等)

⑤ 協力事業

2011年5月17日(火) にアークヒルズクラブが主催するサロンコンサートに以下の演奏家を派遣・協力する。

演奏家 Steven Isserlis (Stradivarius Cello 1730 "Feuermann")
Sam Haywood (ピアノ)

(2) 音楽文化の振興事業

[事業の目的]

音楽関係諸団体の諸活動を支援して、音楽水準の向上に寄与することにより音楽の振興と普及を図る。

[事業の計画]

音楽文化の振興を目的として、音楽諸団体の音楽活動に対し助成金を交付する。その対象は、①マスタークラス②指導者の育成③アウトリーチ・子供④リハビリ⑤パートナーの育成の5本の柱を中心とする。音楽の領域としては、弦楽器を主とするクラシック音楽を優先するが、従来からの吹奏楽等も対象とする。

助成対象事業数	約 12 事業
助成事業実施期間	2011年4月から2012年3月まで

[実施の方法]

当財団の事業運営委員会において、細目を検討のうえ決定する。

(3) 地方における演奏会の開催

[事業の目的]

地方都市において、財団所有楽器と楽器貸与者による演奏会を開催し、クラシック音楽愛好家に世界的文化遺産である弦楽器名器による演奏に触れる機会を提供するとともに、当財団の事業、特に、楽器貸与事業を通じた国際貢献に対する理解の促進を図る。なお、本演奏会は、チャリティコンサートとして実施することとし、収益は地域の音楽振興事業などに充当するものとする。

[事業の計画]

秋田市、岡山市、福岡市の3都市で開催する。

開催月日および場所等

1) 2011年11月11日(金) 秋田アトリオン音楽ホール 700席

演奏家 渡辺玲子(Guarneri del Gesu "Muntz")

江口 玲(ピアノ)

2) 2012年1月21日(土) 岡山市立オリエンタル美術館内中央ホール 250席

演奏家 諏訪内晶子(Stradivarius Violin 1714 "Dolphin")

林 絵里(ピアノ)

3) 2012年1月23日(月) アクロス福岡シンフォニーホール 1867席

演奏家 諏訪内晶子(Stradivarius Violin 1714 "Dolphin")

林 絵里(ピアノ)

いずれのコンサートとも、ヴァイオリン製作工程のパネル展示、当財団のパンフレットの配布等を行い、当財団の楽器貸与事業の周知を積極的に行う。

(4) N響との協働によるチャリティコンサートの開催

[事業の目的]

N響と複数の当財団楽器貸与者による、通常のオーケストラ公演とは異なるユニークなプログラムによる演奏会を開催し、クラシック音楽の振興と普及を図る。

複数の当財団楽器貸与者とN響との共演(複数のストラディヴァリウスとN響との共演)は、当財団だからこそできる企画であり、魅力的な演奏会として注目を集めることが期待できる。

クラシック音楽ファンにオーケストラの中でのストラディヴァリウスの流麗優美な音色を楽しんでもらうとともに、当財団の事業、特に、楽器貸与事業を通じた国際貢献に対する理解の促進を図る。

[事業の計画]

開催月日および場所等

開催月日 2011年8月31日(水) 19:00 開演
開催場所 東京・サントリーホール (2006席)
主 催 NHK交響楽団、日本音楽財団
管 弦 楽 NHK交響楽団
指 揮 者 梅田俊明
独 奏 者 藤森亮一(Stradivarius Cello 1730 "Feuermann")N響首席奏者
Sergey Khachatryan(Stradivarius Violin 1702 "Lord Newlands")
Veronika Eberle(Stradivarius Violin 1700 "Dragonetti")

一般販売及び招待

チャリティ先: 東日本大震災復興支援基金 (チケット売上による収益すべてを寄付する)

(5) その他

(以 上)